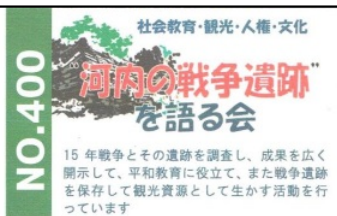


平成29年度八尾市市民活動支援基金事業 助成金事業

「八尾市市民活動支援基金助成金」は、みなさんからいただく「がんばれ八尾応援寄附金」を財源として、運営しています。平成29年度は、6月の公開プレゼンテーション、審査会を経て、下記の3事業への助成が決定しました。

陸軍大正飛行場を中心とする軍事戦争遺跡を歴史的資源として

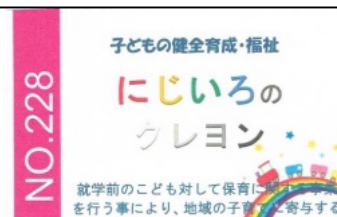
活用する事業 ～河内の戦争遺跡を語る会～



昭和16年に建設された大正飛行場は、本土防空の中心基地であったために、八尾市内や周辺には、多くの軍事施設がおかれ、そのために八尾市は多くの空襲に見舞われたそうです。今も多く残されている戦争遺跡を知ってもらいたいとパンフレット・遺跡地図を作成するとともに、シンポジウムを11月に開催する事業です。

「河内の戦争遺跡を語る会」代表大西進氏は、八尾の何処にどんな戦争遺跡があるのかを知ってもらい、遺跡にふれることによって、平和がどれだけ大切なものか、知ってもらいたいと活動されています。

子育てを喜びに変える魔法 ～にじいろのクレヨン～



幼児期の子どもは、日常生活の中で活動や基本動作の一つ一つを、どうすれば自分でできるか、考えながら目的に向かって思い通りに動かせるように練習しています。子育て中のお母さんや仕事で子育てに関わる大人の方を対象に、子どもの五感(見る・さわる・におう・味わう・聴く)を磨くことで、可能性を引き出すお手伝いの仕方を知ってもらう体験講座です。「みんなの保健室～ひびき～」との「つながりコース」での事業です。講座は9月から来年2月まで、毎月1回それぞれのテーマで開催されます。

第1回 見る：子どもの特性と敏感期のお話をまじえながら、色板やカラーセラピー等を使って色の世界を視覚で感じよう!

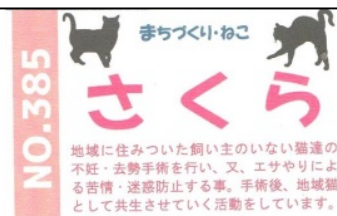
9月14日(木) 10時～12時

プリズムホール4階研修室 保育あり(1人500円 先着15名)

第1回～第4回は、受講料お一人1,000円。第5回は、ランチ付音楽会の為、後日告知。

<申込・お問合せ> にじいろのクレヨン 携帯 090-1226-1854 E-mail:nujukure@maia.eonet.ne.jp

TNRを町会に広めよう そして遺棄!殺処分!0へ!～八尾ねこの会さくら～



のら猫を捕獲して不妊手術を行い地域に戻すT(Trap 捕獲)N(Neuter 不妊去勢手術をすること)R(Return 元の生活場所に戻してやること)を実施することで、地域に存在するのら猫の鳴き声や糞尿の問題を解決するとともに、猫の遺棄・殺処分をゼロにしようとの活動です。8月6日(日)には、八尾市本町第2公園研修室で、「映画に学ぶまちづくり」映画会が開催されました。保護されたのら猫たちの様子や、それに関わるボランティア・獣医・行政の人たちの様子が映し出されていました。命を大切に、人と動物が優しく接する社会であってほしいとの願いが込められています。9月23日(祝)には、タウンミーティングを開催。これには、映画会の開催にあたって回覧板や掲示板を使って広報の協力をした町会など、より多くの人々の参加を呼びかけて行われる予定です。

3団体の左のカードは、「つどい」登録団体カードです。左の数字は、登録番号です。各団体の活動分野などが書かれており、誰でも手にとれるよう「つどい」に配架しています。



八尾市では、地域にも行政にも、地域力をいかした独自のまちづくりを行っていく仕組みが必要であると考え、様々な形で「地域分権」の推進を行っています。

地域力をいかすには、各地域の団体が活発に活動することが重要です。「つどい」では地域活動と市民活動が合わさることで、活動の幅が広がっていくと考え、各団体のつなぎ役をめざしています。そのためにも、地域活動団体や市民活動団体のニーズに応えられるように、地域活動の現状を知るため、研修や出張所等のヒアリングなどを行っています。



「地域分権」って? 研修会を開催

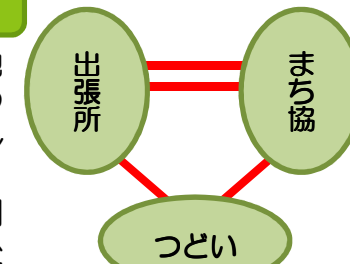
8月3日、近畿大学総合社会学部 久隆浩教授をお迎えして、「地域分権」の歴史、校区まちづくり協議会(以後、「まち協」)の役割などについて、「つどいスタッフ」向けに研修会を開きました。「地域分権」においては、住民の声がより反映される小さな単位の組織が必要となります。各組織がより地域力を発揮するためには、地域活動団体や地域住民が一体となって地域課題の解決や、個性・特性をいかしたまちづくりに取り組み、それを行政が支援する事が求められています。そして八尾市において、各地域活動の中心となるのが、「まち協」です。

「つどい」は今後も、住みよい地域のまちづくりを実現するために、定期的にこのような研修会を開催し、市民活動の支援や地域分権についてより知識を深めて行く予定です。



「つどい」が出張所等をヒアリング!

秋に出張所が、証明書の発行や届出ができる場所から、気軽に相談できる地域拠点へと機能が変更されます。「つどい」は市民活動の拠点であり、また「つどい」も「出張所」も、活動団体に寄り添うという役割を持っています。同じ役割を持つ施設として繋がるために、12カ所すべての出張所、コミュニティセンター及び人権コミュニティセンターを訪問し、担当職員さんから話をお聞きしました。今回の聞き取りで見た各地区が求めている内容をもとに、今後は「出張所」や「まち協」に情報提供を行い、2者のフォローを通じて、市民主体のまちづくりに貢献します。



「つどい」は2者のフォロー

歴史民俗シリーズ 八尾なんやかや 64 西岡京治さんとブータン国

Y 「6月に秋篠宮家の眞子さまが、ブータンに公式訪問されたことは、みなさん、まだ記憶にあるでしょう。」

O 「大学時代の同級生とご婚約の報道もありました。でも正式発表は九州の災害を慮って延期されましたね。」

Y 「ブータンでは、織物博物館や民俗伝統博物館など、あちこち視察され、現地の人たちにも好評で、親善のお役目を果たされたようです。またブータンでは日本人として欠かせない所、《西岡京治をたたえる仏塔》西岡 Cholten》に参拝されました。」

O 「西岡京治さんと八尾の人や、と聞きましたけど?」

Y 「そうです。お生まれは、昭和8年、韓国ソウルですが、出身は八尾で、昭和20年八尾に戻られました。八尾高校、大阪府立大学農学部を卒業後、府立園芸高校の教諭になり、結婚。」

O 「昭和39年、夫人とともに、海外技術協力事業団としてブータンに赴任、定住されました。以後、農業機械化や稲の改良の指導や野菜を食べる習慣のないブータンで大根など野菜栽培の指導など尽力されました。西岡京治さんはブータンで最も尊敬される日本人です。ブータン最高位のダシヨを受けられました。ブータンで、ダシヨニシオカ力を知らない国民はいないそうです。」

Y 「でも、八尾市民で、まだ知らない人がいるのではないですか?」

O 「そうかも知れませんが、八尾の偉人として知っておきたい人物だと思っています。」

西岡さんの本家筋は、常光寺の前のお宅です。『綿吉』という綿の豪商だったようです。」

西岡 京治(ニシカ ケイヂ)氏

